

異国の文化を学び友好を深める

中学生ら15人が姉妹都市バス市を訪問

米国メイン州バス市への訪問団が7月23日から8月2日まで11日間の日程で訪問し、友好親善に努めてきました。今年は中学生12人、引率者ら3人計15人のメンバーが参加。一行は異国の地ならではの、さまざまなプログラムを通して、歴史や文化を学び、空気を直接肌で感じながら、両市の絆を深める大役を果たしてきました。

9月7日に松の館で行われた報告会では、団員一人一人がホストファミリーとの思い出や印象深い体験談など、学び感じたことを堂々と発表しました。



レページ州知事（後列中央）を表敬訪問した一行



バス市の子どもたちと文化交流



知事公邸を見学



ケネベック川をナイトクルーズ



サヨナラパーティーで感謝を伝える



ロブスター漁に挑戦



昔の造船作業を体験

訪問を終えた団員の声

言葉も文化も異なる国でホストファミリーとの生活や触れ合いを重ねながら心を通わせ、異文化の理解を深めました。今回参加した団員のコメントを紹介します。

對馬 大浩 君（木造中3年）



「本当に楽しかった」これがアメリカへ行っての率直な感想です。一緒に行った仲間とは、分からないことを教え合ったり面白い話をしたりと楽しく過ごすことができました。

ホストファミリーはとても歓迎してくれ、優しく接してくれました。引率のインガさん、三上さん、葛西さんはあらゆる場面でサポートしてくれました。今回感じたのは、僕は周りの人に支えられているということです。周りの人の支えがなければアメリカで存分に楽しむことができなかったと思います。ですから、感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。また、アメリカで学んできたたくさんのことをこれからの人生に役立てていきます。

葛西 真愛 さん（稲垣中3年）



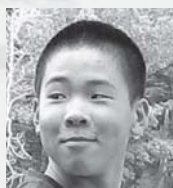
アメリカでは、驚くことや日本と違うと思ったことがたくさんありました。例えば、日本では部屋を使っていない時は戸を閉めますが、アメリカは逆に開けておいて使っていないことを示すことです。また、全ての家が土足ではないことなど、自分のイメージと違うところもあり、毎日新たな発見をすることができました。アメリカの生活を実際に体験して、初めてのことばかりで刺激を受けました。もっと英語を勉強して、日本の文化なども伝えることができるようになりたいと思いました。たくさんの貴重な体験を通じて、英語だけでなく文化や歴史も学ぶことができ、もっと広い視野を持たなければいけないと実感させられました。

成田 双葉 さん（車力中3年）



初めてホストファミリーに会ったときは、一人で泊まるし、英語が話せるかなど不安なことがたくさんありましたが、みんなとても優しくて話しやすかったので、本当に安心することができました。小さい子ども達との文化交流では、私はけん玉について教えました。大きい子は少し教えることができましたが、小さい子にやり方を伝えるのはとても難しかったです。でも、楽しそうにやってくれて、うれしくなりました。今年の夏休みはアメリカでの思い出がたくさんできました。貴重な体験もすごくできました。英語はもっと好きになったし、友達も増えました。アメリカで学んだことを、これからの生活や将来に生かしていきたいです。

三橋 優貴 君（木造中3年）



初めての海外だったので、空港の入国審査や外国人との会話など、とても良い経験になりました。普段学校で習っている英語を使う場面がたくさんありましたが、相手の英語がなかなか聞き取れず、話す時もしっかりとしたニュアンスで話さないと聞き取ってもらえなかったのも、いつも以上に集中しました。楽しかったこともたくさんあり、カヤックからの景色にとっても癒されました。ホストファミリーは本当の家族のように接してくれ、大変お世話になりました。この体験を通じて、アメリカと日本の文化の違いや、マナーの違いなど、様々なことを学ぶことが出来ました。この活動で学んだことを忘れずに、これからの生活に活かしていきたいです。



お別れの日、みんなで記念撮影